

明けましておめでとうございます



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスにより世界中が振り回された1年でもありました。このため、生活や仕事のスタイルを、試行錯誤を繰り返しながら変化させて来ました。おそらくこれは今年も継続すると思います。当社におきましてもリモート会議が定着しましたが、リモート会議では伝わらないコミュニケーションの難しさもわかってきました。今後は状況に応じて臨機応変に対応して行きたいと思っております。

さて、昨年は東レグループの行動指針の中で、「安全と環境」「倫理と公正」「お客様第一」「現場力強化」を重点課題として取り組んできましたが、まだ道半ばの状態で当社の弱みを感じる年でもありました。昨年の反省を糧として、引き続きこの4テーマをより高いレベルへ持っていく所存です。その思いも込めて、今年の会社方針を

「変化をチャンスに！ 総力結集！ ー体質強化 確かな実行ー」

としました。

引き続きすべてのステークホルダーの方々とともに成長していく企業を目指し、社会貢献していきたいと思っております。今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 大坪伸光

2021年 会社方針	
変化をチャンスに！ 総力結集！ 体質強化 確かな実行	
2021年 安全スローガン トータルゼロ災必達！ 現場でKY 基本の徹底 無くそう！ 『油断』『慢心』『思い込み』	2021年 人権活動基本方針 みんなが輝く 快適職場 笑顔 あいさつ 思いやり

当社の外部事業拡大について

当社は、2020年度からスタートした中期経営課題の重点テーマの一つに“外部事業拡大”を掲げ、全社レベルで取組んでいます。当社の売上収益（売上高）の割合は、2019年度実績では東レ関係（施設、保全）が82%、外部関係（プラント、機器）が18%となっていますが、2022年度には外部関係の割合を26%以上に拡大する目標を設定しました。東レグループの一員として、東レ関係事業にも今まで以上にしっかり対応しながら、次の施策を確実に実行し外部事業拡大を実現します。

<外部事業拡大の施策（抜粋）>

- 複数事業部の協業による大型案件の対応力強化・受注
- 東レエンジニアリンググループ会社との連携強化による受注拡大
- 施工管理者のマルチ化（機械、電計のトータル管理）
- 設計・施工のICT化の推進
- キャリア採用による即戦力人材の確保

当社は、2023年に創立50周年を迎えます。新たな時代のスタートに向けて、2022年度を最終年度とする現中期経営課題の3年間で事業基盤のより一層の強化を図り、国内外の情勢が様々な動きを見せる中、多少の外因に左右されることなく成長し続けられる企業を目指します。

2月号では、プラント事業部の外部事業拡大への取組みについてご紹介いたします。

（担当部署：エンジニアリング事業本部Tel 077-534-1032）



保全事業 豆知識2 『超音波エアリーク画像検出器の導入』

工場の設備は老朽化が進むと配管や機器から液体や気体の漏れが発生し、それが設備トラブルの原因になったり、エネルギーのロスを生じたりします。気体（エア、窒素、真空）漏れは目に見えることは無く、漏れ箇所から発生する音も微小であればその特定は困難です。

さらに、高い場所にある配管は足場の設置が必要となり、回転体近傍の漏れ箇所の特定は危険が伴います。

そこで今回、安全で迅速に漏れ箇所を可視化できる『超音波エアリーク画像検出器』を導入しました。

本検出器は気体漏れ箇所をカメラ画像上で確認することができます。本検出器で漏れ箇所を可視化する事で、離れた高い場所にある配管の漏れ箇所調査時に、足場が無くても測定できるようになり、回転体から離れて調査することができるので安全に作業ができます。また、気密テスト時も早期発見による作業効率UPが見込まれます。今後、有効に活用していきます。



超音波エアリーク画像検出器 使用例

お知らせ

本社部門、プラント事業部（営業部（滋賀）、技術1部）は、下記住所へ移転します。
電話・FAX番号は、変更ありません。新住所での業務開始は2月15日（月）の予定です。

〒520-0842 滋賀県大津市園山1丁目1番1号 東レ滋賀事業場内（KTC4階）